

## 2023 年度第 2 回価格審査会の開催について

2023 年度第 2 回価格審査会が開催されましたので、議事概要についてお知らせいたします。

この価格審査会は、外部の有識者によって、当財団が発刊・公開する定期刊行物等の掲載価格について、その客観性、妥当性の審査を行うものです。

開催日時	2023 年 5 月 15 日(月) 13:00~15:00
場 所	6 階大会議室
委 員	田中 弘 日本工営株式会社 技術本部 専門顧問 シニアエンジニア 鈴木 由香 株式会社日本設計 コスト設計部長 栞原 圭一 東日本建設業保証株式会社 業務部 副部長 辻 保人 一般財団法人日本建設情報総合センター システム事業部門 コリnz・テクリスセンター長 早川 和利 東日本旅客鉄道株式会社 東京建設プロジェクトマネジメントオフィス プロジェクト支援ユニット プロジェクト予算 マネージャー(総括)
当 会	共通資材調査部 部長：大澤 勝、次長：小林 法雅 建築調査部 部長：高橋 俊一、次長：島田 理久 監査審査室 室長：黒澤 昭浩 調査統括部(事務局) 部長：柴尾 治、課長：本間 哲

2023 年度第 1 回価格審査会議事録(案) 確認

2023 年度第 2 回価格審査会審議資料説明

審議資料の説明
<p>1. 「建設物価」6月号、「Web 建設物価」6月号</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・価格が上伸した資材（工事費） 【Web 建設物価】 H形鋼（青森市ほか 45 都市）、等辺山形鋼（福井市ほか 15 都市）、セメント（バラ）（青森市ほか 37 都市）、レディーミクストコンクリート（岩見沢市ほか 72 都市）、道路用砕石類（函館市ほか 20 都市）、再生砕石類（鶴岡 A 地区（旧鶴岡市）ほか 8 都市）、アスファルト混合物（八幡平 B 地区（旧安代町）ほか 2 都市）、コンクリート積みブロック（滑面）（前橋市ほか 4 都市）、建築用コンクリートブロック（広島市）、非鉄スクラップ（仙台市ほか 6 都市）ほか。</li><li>・価格が下落した資材（工事費） 【Web 建設物価】 異形棒鋼（福岡市ほか 6 都市）、レディーミクストコンクリート（松本 A 地区（旧松本市）ほか 3 都市）、一般建築用木材（青森市ほか 45 都市）、燃料油（札幌市ほか 19 都市）、鉄スクラップ（札幌市ほか 57 都市）ほか。</li></ul> <p>2. 比較資料</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・企業物価指数、モニター調査結果、業界紙との比較結果について説明</li></ul>

審議事項	委員の意見、質問	建設物価調査会説明・回答
質問 1	レディーミクストコンクリートの大阪市と神戸市は共に 5,700 円の大幅値上がりであるがこの二地区は同じ状況なのか。	この二地区は共に大阪広域生コンクリート協同組合という広域協組に属しており同一市況を形成している。
質問 2	レディーミクストコンクリートの大阪で、協組が4月に値上げを発表し今月に5,700円上伸したとのコメントがあったが、短期間で大幅値上がりした理由は何か。	値上げについては事前に周知していたことから、多くの駆け込み注文が発生したが、4月以降の新規契約に対し、協組は強固な共販体制を背景に強気で交渉を進めた結果、早期に値上げが浸透した。
質問 3	非鉄スクラップ（銅）には「国際相場の上昇を背景に上伸」とある一方で、伸銅品では「国際相場の下落を受け下落」となっている。同じ銅の国際相場について上伸と下落と説明が異なっている理由は何か。	製品ごとのタイムラグが原因である。非鉄スクラップ（銅）は、買い取り業者が直近の相場価格を購入価格に反映する傾向が強い。一方、伸銅品はメーカーが原材料を購入し製作するため、少し前の相場の影響を受ける。
質問 4	レディーミクストコンクリートで、契約時の価格に対して一定期間後に出荷する場合には、出荷時の価格に変更するという契約の交渉状況はどうなっているか。	出荷ベースの値上げで旧契約分も値上げ出来ている事例は多くない。出荷ベースの値上げが市場にどのように浸透していくか今後注視していきたい。
質問 5	非鉄スクラップ（銅）価格が下落から再び上伸している変動要因は何か。	今月の非鉄スクラップ（銅）は小幅な値動きである。需要が増大し高い水準で価格が推移している中での小幅変動であり、今月の値動きに限定した注目すべき変動要因は見当たらない。
質問 6	レディーミクストコンクリートのコメント欄に「協組の配合見直しによる価格改定により下落」とあるが、規格性能を保持したまま配合を見直して価格低下させたという意味なのか。	規格性能を保持したまま配合を見直すことで規格により値下がりや値上がりが発生することがある。今月は、一部地区の協組が配合を見直した結果、値下がりの規格があった。
質問 7	今月はレディーミクストコンクリートの値上がり地区が多い印象である。年度の変わり目に価格変動が多いなどの傾向はあるか。	今月の値上げの主な要因は、セメント等原材料の値上げによる製造コスト増加分の価格転嫁である。値上げが浸透するかどうかは交渉によって決まるため、年度の変わり目だから価格変動が多かったというわけではない。
質問 8	鋳鉄製マンホールふたの下落理由で「メーカーの価格改定により下落」とある。メーカーが値下げした理由は何か。	過去、鋳鉄素材の価格上伸を背景にメーカーが値上げした際、大きいサイズの値上げ幅が大きかったため、メーカーが改めてコストを見直し、大きいサイズの価格を値下げした。

質問 9	「コンクリート型枠用合板」と「600Vビニル絶縁電線」の10都市価格推移グラフは過去から10都市が類似した値動きとなっているが、どのような理由か。	「コンクリート型枠用合板」は、ほぼ輸入品であり国内価格は全国同様の値動きをする傾向にある。「600Vビニル絶縁電線」は、全国規模の大手メーカーであり国内状況は均一化する傾向がある。両者ともに地区毎の需給状況や工場・倉庫からの運搬費などで価格差はあるが、値動きは全国で類似する傾向がある。
審議結果	「建設物価」6月号、「Web 建設物価」6月号の価格動向に問題はなかった。	

以上